

9月の行事予定

日(曜)	行 事 内 容	日(曜)	行 事 内 容
1日(火)	ふるさとまつり・芸能のつどい(1:00～6:00)谷一小校庭 都留市総合防災訓練(A M7:00～)禾一小校庭	12日(土)	大学公開講座(1:00～4:30)文科大学
2日(水)	第49回町別野球大会準決勝、決勝 (市民グラウンド、一中グラウンド)	14日(月)	敬老年金支給(市役所および各出張所) 不用犬・猫の巡回収集日
4日(金)	特別土地保有税審議会(第一会議室)	16日(水)	発明相談(10:00～3:00)第一会議室 広報委員会(1:00～3:00)第一委員会室
5日(土)	大学公開講座(1:30～4:30)文化会館	19日(土)	大学公開講座(1:30～4:30)文科大学 第34回県体育祭り(県営グラウンド)～20日
7日(月)	関東甲信越静地区視聴覚ライブラリー研究協議会 (長野県)～8日 体育指導委員会(社会教育会館) 市議会常任委員協議会 法律相談(1:00～3:00)第一会議室	21日(月)	人権相談・行政相談(1:00～4:00)第一会議室
8日(火)	社会常任委員研修(静岡県)～10日	22日(火)	市議会9月定例会招集(議場) 社会保険出張相談(10:00～4:00)市民課
9日(水)	身体障害者巡回相談(10:00～3:00)文化会館	26日(土)	大学公開講座(1:30～4:30)文化会館
10日(木)	高齢者(88歳以上)・結婚50年60年該当者家庭訪問～12日 体育協会理事会(文化会館) 婦人問題を考える県民のつどい(県民会館大ホール)	28日(月)	市議会本会議(議場)
11日(金)	都留市婦人指導者研修会(グリーンロッジ)	29日(火)	市議会本会議(議場)
		30日(水)	決算特別委員会(大会議室)

毎年四月に行なわれている定式。(寿町自治会の皆さん)



とかく「ふるさとづくり」とい
うと、私たちは、祭りの復活や伝
統芸能の継承を頭に浮かべがちです。
確かに県内各地でも、ふるさとづ
くりへの取り組みは、このような
形から始まっていますし、ふるさ
とというものを、観念的にとらえ
ると、やはり、村まつりとか、お
かぐら、ドンドン焼きといったよ
うな、昔の人々が故あって行なっ
てきた様々の行事を、後世に伝え
てゆくという、方法論に帰結する
でしょう。

しかし、ふるさとづくりとは、

ふるさとづくりコーナー

みつめなおそう
「ふるさとづくり」を!



情緒的、受動的なものではないの
で、人々の心の底にある郷愁をオ
ブライトに包み込むような手助け
をする行為そのものを、ふるさと
づくりと考えることは誤りです。
何故かならば、現代という私た
ちが生きている時代の責務は、過
去の良きものを未来に伝えるメデ
イア(媒体)の役割りを果たすとい
うこともありですが、自分たちが
コア(中核)となり、創造した
ものを後世に引き渡してゆくこと
が命題であるからです。
そこには、自分たちの周囲の千
変万化する現象について、能動的
に働きかけ、積極的に対応してゆ
く姿勢が必要となる訳です。
地方自治の細胞組織とも言える
各自治会組織のなかで、最近、様
々な市民運動が胎動を始めていま
す。

例えば、衛生面における大局的
な見地のなかで、行政に協力しつ
つ、自分たちの周囲の環境を保全
し、市全域に渡る環境行政へのイ
ニシアチブ的始動を試みたのは、
田野倉地区の環境整備計画である
し、従来の八朔祭を、単に露店商
の祭に終始してはならないという
発想のなかから生まれつつあるの
が、若人のサークルが中心となっ
て計画している、現代版八朔祭で
す。要は、現代という複雑な時代
のなかで、借り物でない、住民の
なから創造された私達の文化の
足跡を後世に残してゆくことがで
きるかどうかで、その時代に生き
た人々の、生きざまのボルテージ
が決まるといえるでしょう。
市民の意識が高揚すればする程
いわゆる「おしきせ」でない、真
の住民文化が芽を吹くのです。
先月の環境美化に対する、市民
団体の決意表明も、一つの市民運
動といえますが、これを、デモン
ストレーションで終らせないため
には、現代に生きる我々一人ひと
りが、後世に、過去でなく、現代
の文化を伝えてゆかなければなら
ないという責務を、自覚するなか
で解決できる問題であると思いま
す。
ふるさとづくりという言葉が、
安易に受けとめられている昨今、
もう一度みんな、ふるさとづく
りとは何なのか、考えなおしてみ
るのも、いい頃あいではないでし
ょうか。